

平成 30 年 1 月 31 日
九州電力株式会社

平成 29 年度(平成 30 年 3 月期) 第 3 四半期決算についてお知らせします

平成 29 年度第 3 四半期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、決算短信及び決算説明資料をご参照ください。

1 平成 29 年度第 3 四半期決算概要

当第 3 四半期の業績につきましては、原子力発電電力量の増加による燃料費の抑制などはありましたが、販売電力量の減少や、燃料価格の変動に伴う燃料費調整制度における電気料金への反映が翌四半期以降にずれ込むことによる一時的な収支影響の差が生じたことに加え、電力システム改革等に伴う諸経費が増加したことなどから、連結・個別ともに前年同四半期に比べ増収減益となりました。

連 結

(億円、%)

	当第 3 四半期 (平成29年 4～12月)	前第 3 四半期 (平成28年 4～12月)	増	減	増減率
経 常 収 益	14,501	13,606		894	6.6
売上高[再掲]	14,384	13,467		916	6.8
経 常 費 用	13,665	12,567		1,097	8.7
経 常 利 益	836	1,039	△	202	△ 19.5
特 別 損 失	—	106	△	106	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	736	853	△	117	△ 13.7

個 別

(億円、%)

	当第 3 四半期 (平成29年 4～12月)	前第 3 四半期 (平成28年 4～12月)	増	減	増減率
経 常 収 益	13,476	12,644		832	6.6
売上高[再掲]	13,418	12,538		879	7.0
経 常 費 用	12,800	11,758		1,042	8.9
経 常 利 益	676	886	△	209	△ 23.7
特 別 損 失	—	98	△	98	—
四半期純利益	623	756	△	132	△ 17.5

(参考) 主要諸元表

	当第 3 四半期 (平成29年 4～12月)	前第 3 四半期 (平成28年 4～12月)	増	減
販売電力量	561億kWh	580億kWh	△	19億kWh
原油 CIF 価格	54\$/b	45\$/b		9\$/b
為替レート	112円/\$	107円/\$		5円/\$
原子力[送電端] (設備利用率)	118億kWh 39.9%	98億kWh 33.4%		20億kWh 6.5%

2 平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)業績予想及び期末配当予想

通期の業績予想につきましては、昨年 11 月 30 日に玄海原子力発電所 3、4 号機の使用
前検査申請の変更手続きを行ったことなどを踏まえ、費用全般にわたる更なる削減や最近
の需給動向等を織り込み予想値を算出した結果、売上高、利益ともに前回公表値から変更
はありません。

また、期末配当予想につきましても、前回公表値から変更はなく、普通株式 1 株あたり
10 円としております。

当社は引き続きグループ一体となって、安全確保・法令遵守・安定供給を前提に、徹底
した費用削減に努めるとともに、玄海原子力発電所の早期再稼働に向けた取組みを進めて
まいります。

連 結

(億円、%)

	今 回	10月公表	増 減	増減率
売 上 高	19,450	19,450	—	—
営 業 利 益	950	950	—	—
経 常 利 益	650	650	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	500	500	—	—

個 別

(億円、%)

	今 回	10月公表	増 減	増減率
売 上 高	18,100	18,100	—	—
営 業 利 益	750	750	—	—
経 常 利 益	450	450	—	—
当 期 純 利 益	350	350	—	—

(参考) 主要諸元表

	今 回	10月公表	増 減
販売電力量	765億kWh	766億kWh	△ 1億kWh
原油 CIF 価格	55\$/b	54\$/b	1\$/b
為替レート	112円/\$	114円/\$	△ 2円/\$
原子力[送電端] (設備利用率)	143億kWh 36.5%	174億kWh 44.5%	△ 31億kWh △ 8.0%

以 上

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。